

循環器内科専門医に聞く

富山ろうさい病院 循環器内科部長

ふじいのぞみ
藤井 望



H28年 新病院完成予想図

労災病院 心臓病の情報箱(その一) 「心臓 CT 検査」



左：藤井医師
右：放射線科 上野技師

「虚血性心疾患」 よく聞くけれど…

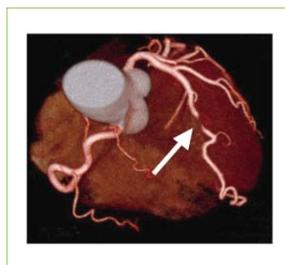
心臓は一日に約 10 万回、そして生涯休みなく収縮し続ける臓器であり、そのためには多くのエネルギーを必要とします。心筋へエネルギー（実際は血液）を届けるために、心臓の表面に血管（冠動脈と言います）が走行していますが、その冠動脈が動脈硬化などにより細くなったり、閉塞したりして、十分な血流心筋へ行き届かなくなってしまった状態を「虚血性心疾患」と言います。そして、虚血性心疾患は、大きく狭心症と心筋梗塞に分けることができます。簡単に言うと、狭心症は、冠動脈が細くなり血流が低下した状態であり、心筋梗塞は冠動脈が詰まってしまった状態です。

「虚血性心疾患」の具体的症状は…

日本では高齢化に伴い、虚血性心疾患の患者数は増加を認め、日本人の三大死因の一つとされています。体を動かした時などに、胸全体の圧迫感を自覚することが典型的な症状です。初めは時々症状を自覚する程度ですが、徐々に頻度が増加することがあります。もし、その様な症状がある場合は、早めに受診して下さい。

「虚血性心疾患」はどうやって診断するの？

自覚症状や心電図・血液検査の異常などで診断しますが、最終的には、冠動脈の狭窄・閉塞を確認する必要があります。冠動脈を具体的に調べるには、心臓カテーテル検査が一般的ですが、入院が必要でありハードルが高くなってしまいます。そこで、カテーテル検査をしなくても、冠動脈の画像的診断が可能な方法として、心臓 CT 検査が注目されています。この検査は、造影剤の注射が必要であることや、放射線の被爆があるなどの注意点はありますが、外来で短時間に検査が可能です。また、カテーテル検査では分からない、冠動脈壁の性状（プラーク）も判定出来ます。動いている心臓の静止画を撮影する必要がありますので、絶対にきれいな写真が撮れるとは限らない欠点がありますが、ほぼ許容範囲な結果が得られます。当院でも、この心臓 CT 検査を含め、総合的に虚血性心疾患の診療を日々行っております。



お気軽に循環器内科専門医へご相談下さい。

<健康診断部の結果、「精密検査必要」と言われた方の受診予約（電話等）を受けています。>

待ち時間が少なく、スムーズに受診を受けられます。特にお仕事をされている方、多忙な方はどうぞ地域医療連携室（下記）にご連絡ください。

直通 0765・22-1354（平日 9：00～16：00）

富山労災病院では、緊急に受診を希望される方の受付を行っています。

症状を自覚した時、夜間・休日の救急外来の時間まで待たずに来院してください。

事前に電話されるとスムーズに診療できます。

電話 0765-22-1280（病院代表）